

Photoshop® Quick Master CC

ver1

2020 補足版

2019年11月～12月リリース

- ・当補足版は、2020（2019年11月リリース）ユーザーがテキスト「Photoshop® クイックマスター CC」を使用した場合の操作内容及び操作説明を補足するものです。
- ・テキスト「Photoshop® クイックマスター CC」は、Adobe® Photoshop® CC(2017) 2016年11月及び2016年12月リリースとWindows、Macintoshの両プラットフォームに対応しています。

	バージョン		リリース	対応テキスト		
Photoshop CC	18.0	(CC2017)	2016年11月	Photoshop クイックマスター CC		
	18.0.1	(CC2017)	2016年12月			
	19.0	(CC2018)	2017年10月	Photoshop クイックマスター CC	+	CC2018補足版
	19.1	(CC2018)	2018年1月			
	20.0	(CC2019)	2018年10月	Photoshop クイックマスター CC	+	CC2019補足版
	20.0.1	(CC2019)	2018年11月			
	20.0.2	(CC2019)	2019年1月			
	20.0.3	(CC2019)	2019年2月			
Photoshop	21.0	(2020)	2019年11月	Photoshop クイックマスター CC	+	2020補足版
	21.0.1	(2020)	2019年11月			
	21.0.2	(2020)	2019年12月			
	21.0.3	(2020)	2020年1月			

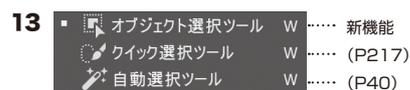
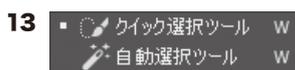
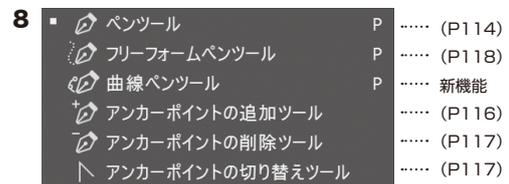
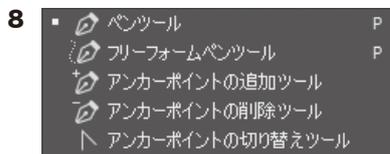
※Photoshop 2020（バージョン 21.0.3）を元に製作しております。

■ P.7 (ツール一覧) 変更・追加のあったツール

ツールバーの上部の [>>>] をクリックするとツールバーを2列にすることができます。

(CC2017)

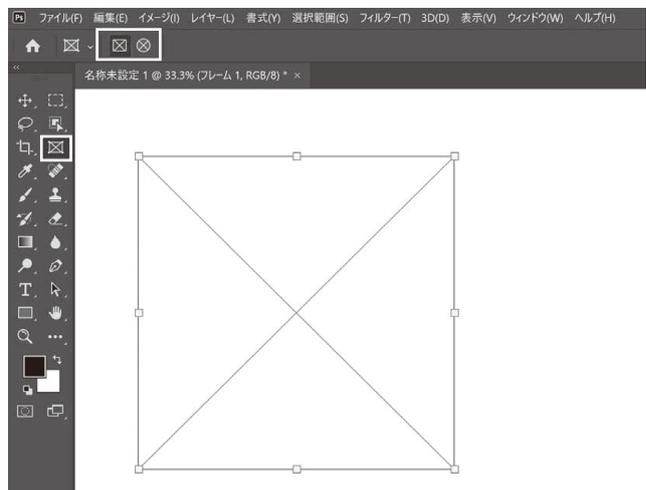
(2020)



フレームツール (新機能)

CC2019より、[フレームツール] が追加されました。
[フレームツール] で画像のプレースホルダーフレームを作成すると、フレーム内に配置した画像を簡単にマスクすることができます。また、任意の図形またはテキストをフレームに変換し、フレーム内を画像で塗りつぶすこともできます。

- ① [フレームツール] を選びます。
- ② オプションバーで長方形または楕円のフレームを選び、キャンバス上をドラッグしてフレームを作成します。



- ③メニューバーから、[ファイル] - [リンクを配置] または [埋め込みを配置] を選択し、ダイアログボックスでフレームに配置する画像を選択します。
(画像は、スマートオブジェクトとして配置されます。)



- ④メニューバーから、[選択範囲] - [レイヤーの選択を解除] を選択します。[移動ツール] でフレームに配置した画像を 1 回クリックするとフレームと画像の両方が選択され、フレームと画像を一緒に移動したり変形したりすることができます。
また、フレームに配置した画像をダブルクリックするとフレーム内の画像が選択され、画像のみを移動したり、変形したりすることができます。



ダブルクリックして画像のみを移動

テキストをフレームに変換して画像を配置する

- ①任意のテキストを入力します。
- ② [レイヤー] パネルでテキストレイヤーを選択し、[レイヤー] パネルのパネルメニューから [フレームに変換] を選びます。
- ③ [新規フレーム] ダイアログで、[OK] ボタンをクリックします。



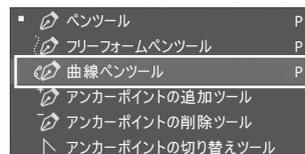
- ④フレームに変換したレイヤーを選択した状態で、メニューバーから、[ファイル] - [リンクを配置] または [埋め込みを配置] を選び、ダイアログボックスでフレームに配置する画像を選択します。



8 曲線ペンツール（新機能）

CC2018 より、[曲線ペンツール] が追加されました。

[曲線ペンツール] は、[ペンツール] のアイコンを長押しして切り替えることができます。



曲線ペンツールによるパスの描画

- ① [曲線ペンツール] を選びます。
- ② ドキュメント内の任意の場所をクリックして、最初のアンカーポイントを作成します。



クリックしてアンカーポイントを作成

- ③ パスのセグメントを曲線にする場合は、クリックして次のアンカーポイントを作成します。（この時、最初のセグメントは直線で表示されます。）



クリックしてアンカーポイントを作成

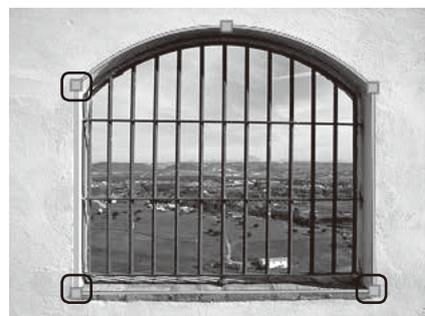
- ④ 次に描画するセグメントを直線にする場合は、ダブルクリックしてアンカーポイントを作成します。この時、前に描画したセグメントが曲線になります。



ダブルクリックしてアンカーポイントを作成

- ⑤ アンカーポイントを追加していき、パスの描画が終わったら、「Esc (esc)」キーを押します。

- ・ スムーズポイントをコーナーポイントに変換したり、コーナーポイントをスムーズポイントに変換する場合は、ポイントをダブルクリックします。
- ・ アンカーポイントをドラッグすると、前に作成したセグメントの曲線を調整することができます。



「Esc (esc)」キーを押して描画を終了

13 オブジェクト選択ツール（新機能）

[オブジェクト選択ツール] が追加されました。

[オブジェクト選択ツール] を使用すると、画像内の人物や動物、物などを自動的に選択することができます。

- ① [オブジェクト選択ツール] を選びます。
- ② オプションバーの [モード] から [長方形] または [なげなわ] を選択し、選択したいオブジェクトをだまかに囲みます。



- ③ オブジェクトが自動的に選択されました。選択範囲を追加する必要がある場合は、オプションバーの [選択範囲に追加ボタン] をクリックして、追加選択したい領域を囲みます。

- ・ 不要な選択範囲を削除する場合は、[現在の選択範囲から一部削除] をクリックし、削除したい領域を囲みます。



■ P.8 よく使うショートカット一覧

(CC2017)		(2020)	
移動ツール V		移動ツール V	
なげなわツール L		なげなわツール L	
切り抜きツール C		切り抜きツール C	
スポット修復ブラシツール J		スポット修復 ブラシツール J	
コピースタンプツール S		コピースタンプ ツール S	
消しゴムツール E		消しゴムツール E	
ペンツール P		ペンツール P	
パスコンポーネン ト選択ツール A		パスコンポーネン ト選択ツール A	
手のひらツール H		手のひらツール H	
初期設定の描画色と背景色 D		初期設定の描画色と背景色 D	
画像描画 / クイックマスク モードの切り換え Q		画像描画 / クイックマスク モードの切り換え Q	
長方形選択ツール M		長方形選択ツール M	
クイック選択ツール W		オブジェクト選択ツール W	
スポイトツール I		スポイトツール I	
ブラシツール B		ブラシツール B	
履歴ブラシ Y ツール		履歴ブラシ ツール Y	
グラデーションツール G		グラデーションツール G	
覆い焼きツール O		覆い焼きツール O	
横書き文字ツール T		横書き文字ツール T	
長方形ツール U		長方形ツール U	
ズームツール Z		ズームツール Z	
描画色と背景色を 入れ替え X		描画色と背景色を 入れ替え X	
スクリーンモードの 切り替え F		スクリーンモードの 切り替え F	

(CC2017)	
編集	
取り消し / やり直し	Ctrl+Z
1段階進む	Shift+Ctrl+Z
1段階戻る	Alt+Ctrl+Z
カット	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
結合部分をコピー	Shift+Ctrl+C
ペースト	Ctrl+V

(2020)	
編集	
取り消し	Ctrl+Z
やり直し	Shift+Ctrl+Z
最後の状態を切り替え	Alt+Ctrl+Z
カット	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
結合部分をコピー	Shift+Ctrl+C
ペースト	Ctrl+V

CC2019より、「Ctrl (command)」 + 「Z」を使用して、複数のステップを取り消すことができるようになりました。また、レイヤーの表示／非表示の変更も取り消し可能になりました。

従来方式の取り消しモードに切り替える手順

- ①メニューバーから、[編集] - [キーボードショートカット] を選びます。
- ② [キーボードショートカットとメニュー] ダイアログで、[従来方式の取り消しショートカットを使用] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- ③ Photoshop を再起動します。

■ P.10 (1 Photoshopの起動 (Windows))

手順
番号

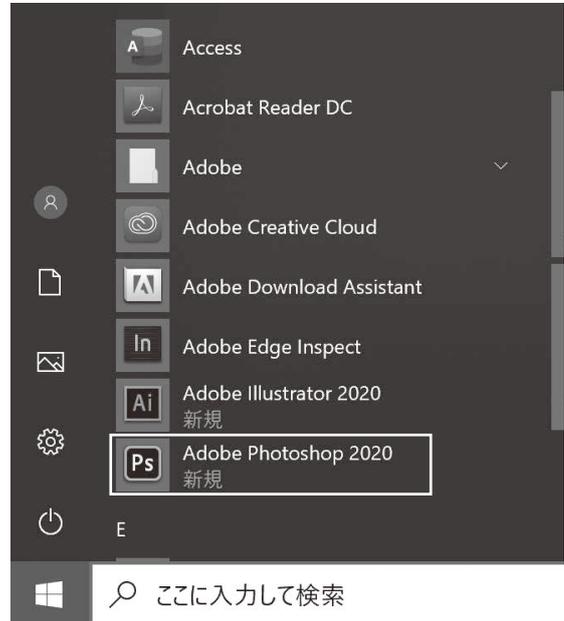
(CC2017)

(2020)

1 [スタートメニュー] から **[Adobe Photoshop CC 2017]** を選びます。



[スタートメニュー] から **[Adobe Photoshop 2020]** を選びます。



■ P.11 (1 Photoshopの起動 (Mac))

手順
番号

(CC2017)

(2020)

1 [アプリケーション] ウィンドウ内のフォルダー《**Adobe Photoshop CC2017**》内の《**Adobe Photoshop CC2017**》アイコンをダブルクリックして、Photoshopを起動します。



[アプリケーション] ウィンドウ内のフォルダー《**Adobe Photoshop 2020**》内の《**Adobe Photoshop 2020**》アイコンをダブルクリックして、Photoshopを起動します。



[Adobe Photoshop 2020] フォルダー

■ P.11 (2 スタートワークスペースからファイルを開く)

クラウドドキュメントを使用できるようになりました。クラウドドキュメントとは、Adobe XD などの互換性のあるアプリケーションや異なるデバイスで編集できるクラウド対応のドキュメントです。クラウドドキュメントは Creative Cloud ストレージに保存され、パソコンで作成したドキュメントを iPad などのデバイスで開き、シームレスに編集するといったことができるようになりました。

手順
番号

(CC2017)

(2020)

- 1 Photoshop が起動すると、スタートワークスペースが表示されます。
[開く] ボタンをクリックします。



- Photoshop が起動すると、スタートワークスペースが表示されます。
[開く] ボタンをクリックします。
初めて起動する場合は、クラウドドキュメントのダイアログが表示されます。[ローカルコンピュータ] ボタンをクリックします。



■ P.12 (3 保存・別名で保存)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

- 1 メニューバーから [ファイル] - [別名で保存] を選びます。
[名前を付けて保存 (別名で保存)] ダイアログが表示されます。



- メニューバーから [ファイル] - [別名で保存] を選びます。
クラウドドキュメントに保存するか、パソコンに保存するかを選択するダイアログが表示されます。[パソコンに保存] ボタンをクリックします。



- [名前を付けて保存 (別名で保存)] ダイアログが表示されます。

■ P.14 (6) 新規ファイルの作成

手順
番号

(CC2017)

(2020)

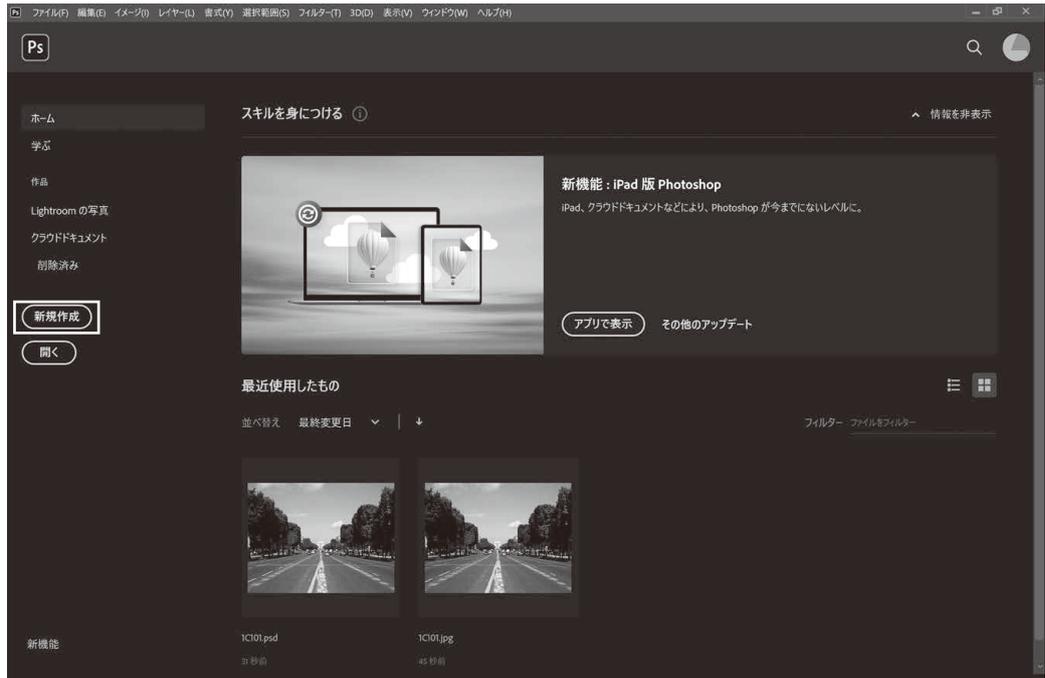
1 新規ファイルを作成してみましょう。
Photoshop CC2017では、何も書類が開いていない状態では、スタートワークスペース画面が表示されます。

【新規】ボタンをクリックします。



新規ファイルを作成してみましょう。
Photoshop 2020では、何も書類が開いていない状態では、スタートワークスペース画面が表示されます。

【新規作成】ボタンをクリックします。



スタートワークスペース

■ P.14 (Point) CC2017 で CC2015 以前のダイアログを使用する設定手順

手順
番号

(CC2017)

(2020)

① メニューバーから [編集 (Mac:Photoshop **CC**)] - [環境設定] - [一般] を選びます。 → メニューバーから [編集 (Mac:Photoshop)] - [環境設定] - [一般] を選びます。

以降、[Photoshop CC] → [Photoshop] への読み替えをお願いいたします。

■ P.26、27 (7 スウォッチパネル)

[スウォッチ] パネルが新しくなり、スウォッチをグループごとに整理して管理できるようになりました。

([パターン] パネル、[グラデーション] パネル、[スタイル] パネルも同様に変更されています。)

各グループの左側にある  をクリックすると、グループが展開しカラーが表示されます。

[スウォッチを新規作成] ボタンのアイコンが  から  に変更されました。



手順
番号

(CC2017)

(2020)

3

[スウォッチ] パネルに色を登録するには、まず [描画色を設定] ボックスに登録したい色を設定します。

設定後、[スウォッチ] パネルの色が設定されていないグレーの部分にポインターを移動し、ポインターが [塗りつぶしツール] に変わったらクリックします。グレーの部分が表示されていない場合は、スウォッチリストをスクロールしてください。



[スウォッチ] パネルに色を登録するには、まず [描画色を設定] ボックスに登録したい色を設定します。

設定後、[スウォッチ] パネル右下の [スウォッチを新規作成] ボタンをクリックします。



[スウォッチを新規作成] ボタン

手順
番号

(CC2017)

(2020)

4

[スウォッチ] パネルから色を削除する場合は、「Alt (option)」キーを押しながら [スウォッチ] パネルの削除したい色にポインターを移動し、ポインターがはさみに変わるのを確認し、クリックします。



[スウォッチ] パネルから色を削除する場合は、削除するスウォッチを選択して、[スウォッチ] パネル右下の [スウォッチを削除] ボタンをクリックします。



[スウォッチを削除] ボタン

手順番号 5 の [スウォッチの初期化] のコマンドがなくなりました。スウォッチを元の状態に戻すには、すべてのグループとスウォッチを削除してから、パネルメニューの [デフォルトスウォッチを復元] を選びます。

■ P.55 (1 拡大・縮小 / 回転 / ゆがみ / 自由な形に)

オプションバーの「縦横比を固定」ボタンが初期設定で ON になりました。画像は縦横比を固定したまま拡大・縮小されます。「Shift (shift)」キーを押している間は一時的に OFF になり、離すと ON になります。



「縦横比を固定」ボタン

手順
番号

(CC2017)

(2020)

2

「Shift (shift)」キーを押したまま、四隅のコーナーハンドルをドラッグします。



四隅のコーナーハンドルをドラッグします。

■ P.58 (Point [自由変形] コマンド)

(CC2017)

(2020)

反転

「Alt (option)」キーを押しながら



「Alt (option)」 + 「Shift (shift)」キーを押しながら

■ P.72 (1 ブラシツールとオプションの設定)

CC2019 より、[ブラシツール] を選択し、オプションバーで [滑らかさ] に 0 ~ 100 を入力すると、描画の際にスムージングが適用されるようになりました。大きな値を指定すると、ストロークに適用されるスムージングが強くなり、より滑らかな線を描画することができます。0 を指定すると、以前のバージョンの Photoshop と同じように描画できます。

[滑らかさ] の設定は、[ブラシツール] の他、[鉛筆ツール]、[消しゴムツール] でも使用できます。



オプションバー 滑らかさの設定

■ P.72 (1 ブラシツールとオプションの設定)

従来の [ブラシプリセット] の使い勝手が向上しました。

手順
番号

(CC2017)

(2020)

3

ツールパネルから [ブラシツール] を選びます。オプションバーの [ブラシプリセットピッカー] から [ソフト円ブラシ] を選び、[直径] を [13 px] に設定します。

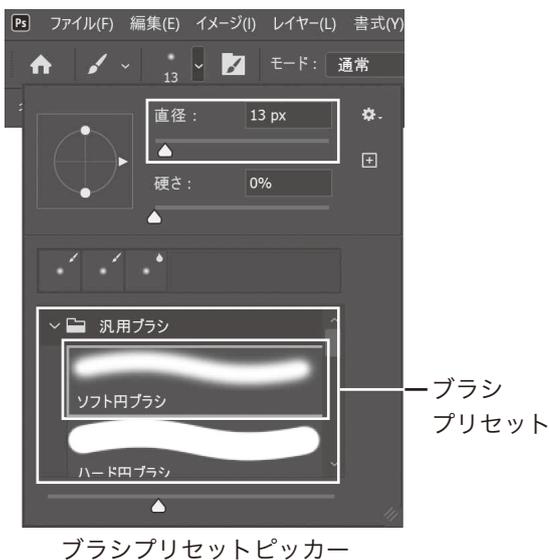
[ブラシプリセットピッカー] には、ブラシの形状、サイズ、不透明度、エアブラシ機能の ON/OFF などを設定した様々なブラシの見本が表示されま

す。



ツールパネルから [ブラシツール] を選びます。オプションバーの [ブラシプリセットピッカー] から [汎用ブラシ] フォルダー左の [>] をクリックしてフォルダーを展開し、[ソフト円ブラシ] を選び、[直径] を [13 px] に設定します。

[ブラシプリセット] では、ブラシの形状、サイズ、不透明度、エアブラシ機能の ON/OFF などを設定した様々なブラシを **フォルダーで分類して整理** することができます。



■ P.74 (3 ブラシプリセット)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

1

[ブラシプリセットピッカー] の下側半分に表示されるブラシセットのグループを、初期設定のものから別のグループに変更してみましょう。

[ブラシツール] を選択している状態で、オプションバーから [ブラシプリセットピッカー] を表示します。



[ブラシツール] を選択している状態で、オプションバーから [ブラシプリセットピッカー] を表示します。

[ブラシプリセット] には、汎用ブラシ、ドライメディアブラシ、ウェットメディアブラシ、特殊効果ブラシの4つのフォルダーが表示されます。



2

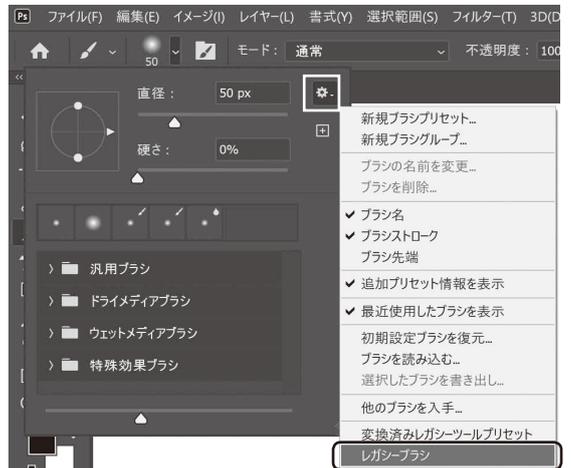
[ブラシプリセットピッカー] の右上のボタンをクリックしてメニューを表示し、[特殊効果ブラシ] を選びます。

「現在のブラシを特殊効果ブラシで置き換えますか?」というアラートウィンドウが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。さらに、「置き換える前に、現在のブラシへの変更を保存しますか?」というアラートウィンドウが表示されたら、[いいえ (保存しない)] ボタンをクリックします。



[ブラシプリセット] に従来のブラシを読み込んでみましょう。

[ブラシプリセットピッカー] の右上のボタンをクリックしてメニューを表示し、[レガシーブラシ] を選びます。



「[レガシーブラシ] ブラシセットをブラシプリセットのリストに戻しますか?」というアラートウィンドウが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

3

ブラシプリセットの一覧から、[バラ (散乱)] を選びます。ツールパネルの [描画色を設定] ボックスをクリックし、描画色を赤 ([R:255、G:0、B:0]) に設定します。



[レガシーブラシ] フォルダーを開き、さらにその中から [特殊効果ブラシ] を開きます。

ブラシプリセットの一覧から、[バラ (散乱)] を選びます。ツールパネルの [描画色を設定] ボックスをクリックし、描画色を赤 ([R:255、G:0、B:0]) に設定します。



[レガシーブラシ] ▶ [特殊効果ブラシ]
▶ [バラ (散乱)] を選択

■ P.74 (4 ブラシパネル)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

1

[バラ (散乱)] をもとに、ブラシをカスタマイズ
してみましょう。
[ブラシツール] を選択している状態で、オプショ
ンバーの **[ブラシパネルの切り替え]** ボタンをク
リックします。



[バラ (散乱)] をもとに、ブラシをカスタマイズ
してみましょう。
[ブラシツール] を選択している状態で、オプショ
ンバーの **[ブラシ設定パネルの表示を切り替え]**
ボタンをクリックします。



[ブラシ設定パネルの表示を切り替え] ボタン

手順
番号

(CC2017)

(2020)

2

[ブラシ] パネルが表示されます。
([ブラシ] パネルは、ブラシの作成や編集、登録
したブラシセットを管理するパネルです。)



[ブラシ設定] パネルが表示されます。
([ブラシ設定] パネルは、ブラシの作成や編集、
登録したブラシセットを管理するパネルです。)

ブラシプリセットの [バラ (散乱)] ([Scattered
Roses]) が選択されていることを確認し、[間隔]
を [45%] に設定します。

ブラシプリセットの [バラ (散乱)] が選択され
ていることを確認し、[間隔] を [45%] に設定
します。



[ブラシ設定] パネル

以降、[ブラシ] パネル→ [ブラシ設定] パネルへの読み替えをお願いいたします。

5 [デュアルブラシ] をクリックし、[ソフト円 45] のブラシを選択し、[直径] を [80 px] に設定



[デュアルブラシ] をクリックし、**ブラシの一覧をスクロールして** [ソフト円 45] のブラシを選択し、[直径] を [80 px] に設定します。



[デュアルブラシ] を設定

■ P.76 (4 ブラシパネル)

7 [ブラシ名] ダイアログが表示されます。
[名前] を「Flowers」に設定し、[OK] ボタン
をクリックします。
新しく「Flowers」というブラシが設定されま
した。



【新規ブラシ】 ダイアログが表示されます。
[名前] を「Flowers」に設定し、**【ブラシサイズをプリセットで保存】** をチェックして、[OK]
ボタンをクリックします。
新しく「Flowers」というブラシが設定されま
した。



ブラシに名前を付けて登録

■ P.76 (4 ブラシパネル)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

8

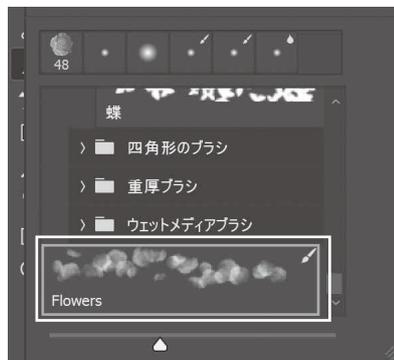
オプションバーから [ブラシプリセットピッカー] を選びます。[ブラシプリセットピッカー] の右上のボタンをクリックし、メニューから [リスト (大) を表示] を選びます。

ブラシプリセットの表示が変わり、ブラシ名が表示されるので、作成した「Flowers」ブラシを選択し、描画してみましょう。



オプションバーから [ブラシプリセットピッカー] を選びます。

作成した「Flowers」ブラシを選択し、描画してみましょう。



[Flowers] を選択

手順
番号

(CC2017)

(2020)

9

ブラシプリセットを初期設定に戻しましょう。[ブラシプリセットピッカー] の右上のボタンをクリックし、メニューから [初期設定に戻す] を選びます。

[現在のブラシを初期設定のブラシで置き換えますか?] というアラートが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。さらに、[置き換える前に、現在のブラシへの変更を保存しますか?] というアラートが表示されたら、[いいえ (Mac: 保存しない)] ボタンをクリックします。

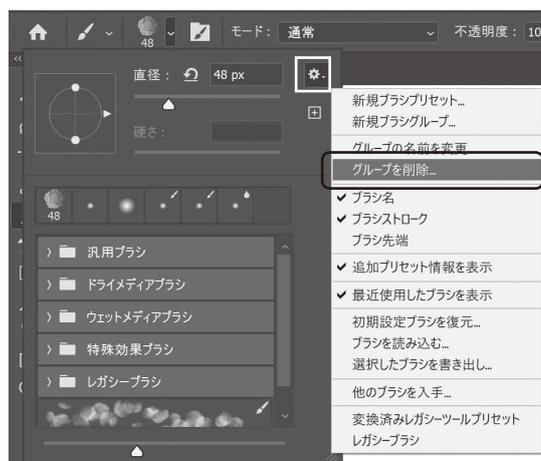
初期設定のブラシプリセットグループに戻りました。



ブラシプリセットのフォルダーを削除しましょう。「Shift (shift)」キーを押しながら、ブラシプリセットの [汎用ブラシ]、[ドライメディアブラシ]、[ウェットメディアブラシ]、[特殊効果ブラシ]、[レガシーブラシ] をクリックし、選択します。

[ブラシプリセットピッカー] の右上のボタンをクリックし、メニューから [グループを削除] を選びます。

[選択したブラシを削除しますか?] というアラートが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



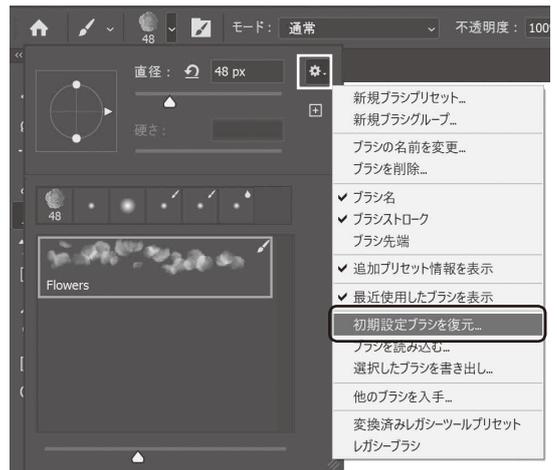
グループを削除

次に、ブラシプリセットの初期設定のフォルダーをリストに戻しましょう。

[ブラシプリセットピッカー] の右上のボタンをクリックし、メニューから [初期設定ブラシを復元] を選びます。

[ブラシのデフォルトをブラシプリセットのリストに戻しますか?] というアラートが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

ブラシプリセットの初期設定のフォルダーが復元されました。



初期設定ブラシを復元

■ P.80 (9 パターンスタンプツール)

パターンのプリセットが変更され、グループごとに整理されるようになりました。

手順
番号

(CC2017)

(2020)

4 オプションバーから [パターンピッカー] を表示し、メニューから [パターン] を選びます。「現在のパターンを置き換えますか?」というアラートウィンドウが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

表示された [パターン] から [ビジュアルチェッカー盤] を選び、ドキュメントウィンドウ上でドラッグしてみましょう。



オプションバーから [パターンピッカー] を表示し、[草] の左側にある [] をクリックして [草 - 秋] を選びます。ドキュメントウィンドウ上でドラッグしてみましょう。



[草 - 秋] を選択して描画

■ P.81 (10 グラデーションツール)

グラデーションのプリセットが変更され、グループごとに整理されるようになりました。

手順
番号

(CC2017)

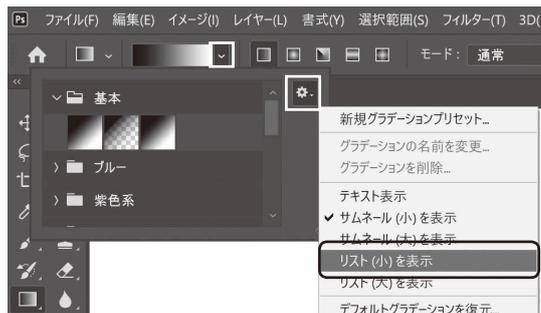
(2020)

3

[グラデーションピッカー] を表示し、メニューから [リスト (小)] を表示] を選びます。グラデーションピッカーの内容が、サムネールと名前のリスト表示に変わります。



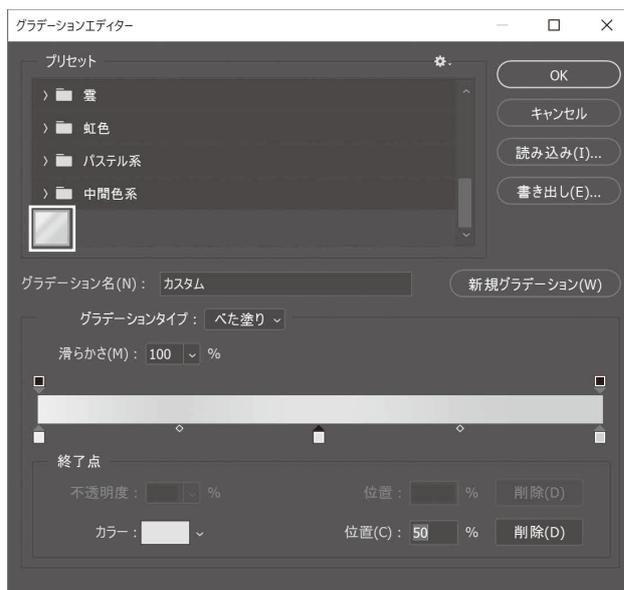
[グラデーションピッカー] を表示し、[基本] の左側にある  をクリックして展開します。メニューから [リスト (小)] を表示] を選びます。グラデーションピッカーの内容が、サムネールと名前のリスト表示に変わります。



■ P.82、83 (11 グラデーションエディター)

グラデーションエディターに表示されるグラデーションのプリセットが変更され、グループごとに整理されるようになりました。

手順 8 で新規グラデーションを追加すると、プリセットの最下部に追加したグラデーションが登録されます。



[グラデーションエディター] ダイアログ

■ P.97 (Chapter5 演習問題)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

1

完成例を参考に、[ブラシツール] を使用し、雪が降っているイメージに仕上げてみましょう。雪の結晶の形のブラシは、**[ブラシセット]** の **[カスタムブラシ]** に用意されています。



完成例を参考に、[ブラシツール] を使用し、雪が降っているイメージに仕上げてみましょう。雪の結晶の形のブラシ (雪片) は、**[ブラシセット]** の **[レガシーブラシ]** > **[カスタムブラシ]** に用意されています。

■ P.113 (1 パスコンポーネント選択ツール)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

5 縦横比率を維持したまま、パスを縮小してみま
しょう。
バウンディングボックスの右下のコーナーハンド
ルを「Shift (shift)」キーを押しながら左上
にドラッグします。



縦横比率を維持したまま、パスを縮小してみま
しょう。
バウンディングボックスの右下のコーナーハンド
ルを左上にドラッグします。

■ P.119 (9 フリーフォームペンツール)

手順
番号

2 [フリーフォームペンツール] を選び、オプションバーの [ペンやパスのオプションを追加設定] をクリック
すると、パスの太さやカラーを設定できるようになりました。



[フリーフォームペンツール] のオプションを設定

■ P.119 (10 マグネットペンツール)

手順
番号

2 オプションバーの [ペンやパスのオプションを追加設定] をクリックしたときの表示が変わりました。



オプションバーの設定

■ P.120、P.121 (1 シェイプの変形)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

3

バウンディングボックスが表示されるので、「**Shift (shift)**」キーを押しながら右下のコーナーハンドルをドラッグし、拡大します。



バウンディングボックスが表示されるので、右下のコーナーハンドルをドラッグし、拡大します。

■ P.124 (4 カスタムシェイプの配置)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

3

右図を参考に「Shift (shift)」キーを押しながらドラッグし、[戻るアイコン] を作成します。[レイヤー] パネルの「お気に入り」レイヤーの上に「**シェイプ 1**」レイヤーが作成されます。レイヤー名を「戻るアイコン」に変更します。



右図を参考に「Shift (shift)」キーを押しながらドラッグし、[戻るアイコン] を作成します。[レイヤー] パネルの「お気に入り」レイヤーの上に「**戻るアイコン 1**」レイヤーが作成されます。レイヤー名を「戻るアイコン」に変更します。

■ P.133 (1 文字の変形)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

4

メニューバーから[編集] - [変形] - [拡大・縮小] を選びます。バウンディングボックスが表示されます。「**Shift (shift)**」キーを押したまま四隅のコーナーハンドルをドラッグしてみましょう。



メニューバーから[編集] - [変形] - [拡大・縮小] を選びます。バウンディングボックスが表示されます。四隅のコーナーハンドルをドラッグしてみましょう。

■ P.184 (Step1 ヘアラインを作成する)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

7

メニューバーから[編集] - [自由変形] を選びます。「**Alt (option)**」キーを押しながら、左右いずれかのサイドハンドルを外側に広げて、ぼかし残り部分が画面内に残らないように拡大します。



メニューバーから[編集] - [自由変形] を選びます。「**Alt (option)**」 + 「**Shift (shift)**」キーを押しながら、左右いずれかのサイドハンドルを外側に広げて、ぼかし残り部分が画面内に残らないように拡大します。

■ P.189 (Step1 カスタムシェイプとスタイルを読み込む)

シェイプ及びスタイルのプリセットが変更され、グループごとに整理されるようになりました。

手順
番号

(CC2017)

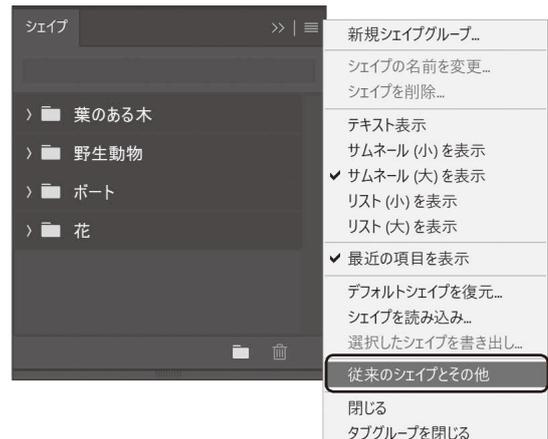
(2020)

2

カスタムシェイプにすべてのシェイプを読み込みます。
オプションバーで [シェイプ] に設定されていることを確認します。
[カスタムシェイプ] ポップアップパネルを表示します。右上の設定ボタンをクリックし、パネルメニューから [すべて] を選びます。シェイプの置き換えを確認するアラートウィンドウが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。
パネルの内容を変更していた場合は、保存を確認するアラートウィンドウが表示されます。変更を保存する場合は、[はい (保存)] を、保存する必要がなければ、[いいえ (保存しない)] をクリックしてください。
[カスタムシェイプ] ポップアップパネルにすべてのシェイプが読み込まれます。



カスタムシェイプに従来のシェイプを読み込みます。
メニューバーから [ウィンドウ] - [シェイプ] を選び、[シェイプ] パネルを表示します。
[シェイプ] パネルのパネルメニューから [従来のシェイプとその他] を選びます。



[従来のシェイプとその他] のグループが追加されました。グループの左側にある ▶ をクリックするとグループ内のシェイプが表示されます。

以降、[カスタムシェイプ] ポップパネル→ [シェイプ] パネルへの読み替えをお願いいたします。

5

[スタイル] パネルにスタイルセットを読み込みます。
[スタイル] パネルのパネルメニューから [Webスタイル] を選びます。スタイルの置き換えを確認するアラートウィンドウが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。
初期設定のスタイルが [Webスタイル] に置き換えられます。



[スタイル] パネルに従来のスタイルを読み込みます。
[スタイル] パネルのパネルメニューから [従来のスタイルとその他] を選びます。



[従来のスタイルとその他] > [従来のすべてのデフォルトスタイル] > [従来のデフォルトスタイル] グループ内のスタイルを表示します。

■ P.192 (Step5 作例 4)

スタイル：[テキスト効果 2] は、[従来のスタイルとその他] > [従来のすべてのデフォルトスタイル] の中にあります。



■ P.195 (Step1 背景の木目を作成する)

制作の前に [パターン] パネルに従来のパターンを読み込んでください。

[パターン] パネルのパネルメニューから [従来のパターンとその他] を選びます。



手順
番号

(CC2017)

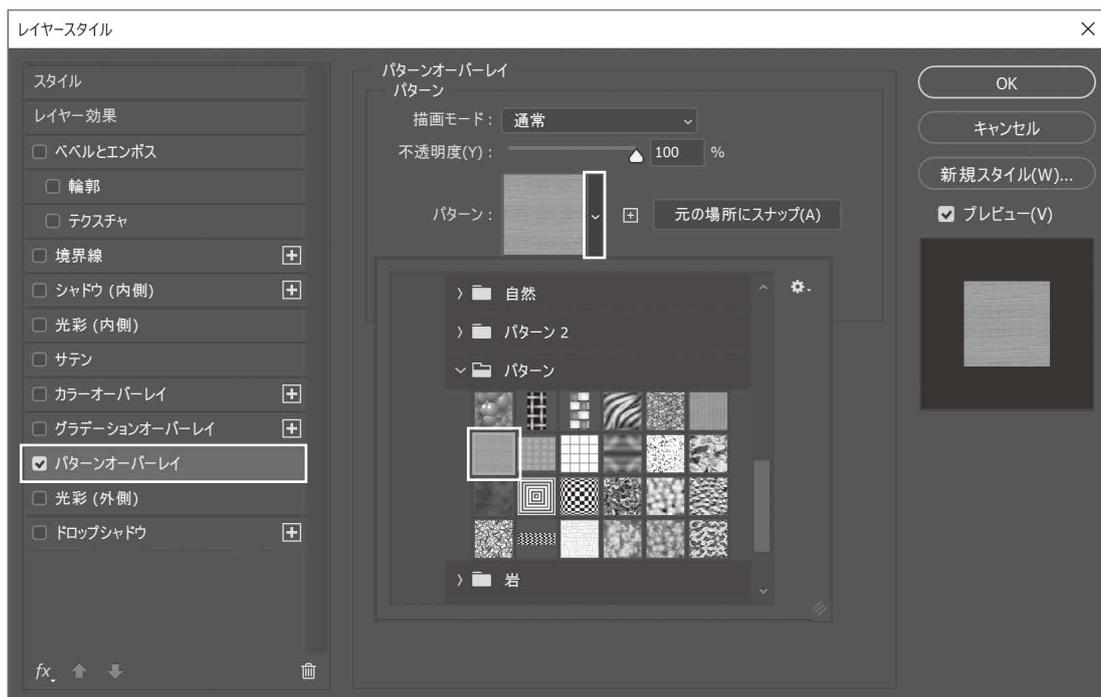
(2020)

3

[レイヤー] パネルから [木目] レイヤーを選び、[レイヤースタイルを追加] ボタンをクリックし、[パターンオーバーレイ] を選びます。
[レイヤースタイル] ダイアログの [パターンオーバーレイ] で、[パターン] をクリックして表示される [パターンピッカー] の右上の設定ボタンをクリックして、[パターン] を選びます。
パターンの置き換えを確認するアラートウィンドウが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。パターンのサムネールに [木] が表示されるので、[木] を選びます。
画面全体が木目パターンで埋め尽くされます。



[レイヤー] パネルから [木目] レイヤーを選び、[レイヤースタイルを追加] ボタンをクリックし、[パターンオーバーレイ] を選びます。
[レイヤースタイル] ダイアログの [パターンオーバーレイ] で、[パターン] をクリックして表示される [パターンピッカー] から、[従来のパターンとその他] > [従来のパターン] > [パターン] の中にある [木] を選びます。
画面全体が木目パターンで埋め尽くされます。



[パターンオーバーレイ] を設定

■ P.217 (Step1 レイヤーマスクで不要な部分を透明にする)

[自動選択ツール] を使用して背景を選択する方法に加え、2020 では [オブジェクト選択ツール] を使用して人物を囲むことで、すばやく人物を選択できるようになりました。



[オブジェクト選択ツール]

■ P.224 (Step2 画像を配置してクリッピングマスクを作成)

手順
番号

(CC2017)

(2020)

3

「Photo 1」レイヤーを縮小します。
メニューバーから [編集] - [自由変形] を選びます。
右図を参考に、**「Shift (shift)」キーを押しながら**バウンディングボックスをドラッグし、縮小配置します。



「Photo 1」レイヤーを縮小します。
メニューバーから [編集] - [自由変形] を選びます。
右図を参考に、バウンディングボックスをドラッグし、縮小配置します。